

1. 日時：2015/12/5（土）10:30～13:00
2. 場所：九州本部 会議室
3. 出欠（敬称略）：赤石、味澤、大里、小出、古賀、末松
出席者、欠席者】 中村、西尾、松原、森川、八百屋、山田、吉田
 [オブザーバー出席：長野副本部長]
 （欠席委員2名（森川、八百屋）からは決議一任を頂いています）

4. 予定議題

- 1) 各グループのこれまでの活動状況報告：事前配布資料類は以下。
 - ★第1Gr：資料①-1：H27年度計画と組織体制、資料①-2：H27年度地域産業支援委員会活動経過
 - ★第2Gr：資料②-1：H27年度第二回中間報告、資料②-2：H27年度11月末時点の進捗状況、
資料②-3：技術相談HP更新後の画面情報資料
 - ★第3Gr：資料③-1：福岡県中小企業振興センター訪問メモ・覚書
資料③-2：特許庁審査第四部長との懇談会報告
 - ★第4Gr：資料④-1：「九州・沖縄産業技術オープンデー」展示ポスター(1)技術士会と九州本部の活動紹介
資料④-2：同上(2)「技術相談」の具体的内容の活動紹介
資料④-3：九州・沖縄産業技術オープンデー出展状況記事案(技術士だより・九州：H28/1/15号)
 - ★第5Gr：配布資料なし。
 - ★その他：資料⑥：九州本部長要請（福岡県中小企業中央会が行う補助事業審査外部委託の件）

2) 今後の活動予定について

- (1) 技術相談に関して(2Gr)；★HP更新後の技術相談実務の開始について
- (2) 外部機関との連携強化に関して(3Gr)；★未訪問機関への訪問の具体化
- (3) 次回例会時に行う技術指導紹介発表者の選定；(5Gr)
- (4) その他；★九州本部長から要請のある「福岡県中小企業団体中央会」の調査追加対応

5. 議題に対する結果（決定事項など）：

5. 1 第1グループ：【文責：吉田、末松】

【これまでの活動状況】

- 1) 5つのグループのリーダーとサブリーダー以外に、担当を希望するメンバの方が決まったので、「H27年度計画と組織体制」を改版し、資料①-1を更新した。また、第2回例会から、第3回例会までに各グループが活動した内容を、一望できるよう資料①-2に整理した。

【今後の活動予定】。

- 1) 今後の例会開催日：
 - 第4回例会：2016/3/26（土）13:30～16:00の予定。場所は九州本部会議室。
 - 13:30～15:00（活動状況と今後の活動予定）
 - 15:00～16:00：九州本部内での経験者による事例発表（味澤先生）

5. 2 第2グループ：【文責：味澤・吉田】

【これまでの活動状況】：「資料②-1、②-2」に則り報告

- 1) 『「技術の相談」窓口』の現状調査（他学協会共）：H27年度第2回会議で報告済み。
- 2) 『HP「技術の相談」』の整備と「技術士DB」登録状況：11月末更新完了。

3) セミナー（フェア）等出展実績等調査：

- (1) 「九州本部事務局文書管理簿抜粋（セミナー等）」として、H27 年度第 2 回会議で報告済み。
- (2) 引続き、事務局へ送信される各機関からのセミナー（フェア）等の案内状況を確認したい。
- (3) セミナー（フェア）等への、出展可否のルール作り（決め事・内規）が必要と思われる。

（*）本件についての意見抜粋：

- ① 「出展」についても、単なる「広告（パネル掲示のみ等）」なのか、会場での「対応形式」なのか、形式が異なる事も判断項目と成る。
- ② 地域産業支援委員会単独で決められる事項では無い（他の委員会、部会とも関連する事項）。
- ③ 「個別案件」毎に、出展意向について地域産業支援委員会で「起案書」を作成し、本部長（幹部会）に諮る事にしたらどうか。——「懸案事項」として引き続き検討。

【今後の活動予定】

1) 『「企業内技術士」の支援事業への参画の在り方』について：

- (1) 企業内技術士を対象とした「調査表」等を作成し、次回委員会で諮りたい（実施はH28 年度以降として）。

2) HP には載せず、内部資料として作成する「支援実施例集」について（第 4G 活動とリンク）：

- (1) 「産総研九州・沖縄産業技術オープンデー（12 月 2 日（水）」での『展示パネル』で「素案」を示した。【資料④-2】
- (2) 「素案」では、A4 版 1 枚での記載であったので、今後件数を増やし、より具体的な表現でまとめてみたい。次回委員会迄に「実施例集」としてまとめるので、要不要も含め御意見を伺いたい。

3) HP 更新後の技術相談実務の開始について：

産総研「九州・沖縄産業技術オープンデー」の技術相談時に、産総研所長代理から相談された“食品を対象とした不要部分の分離技術”への応対可否の調整に対応する（吉田委員）。

5. 3 第 3 グループ；【文責：古賀】

【これまでの活動状況】

- 1) 平成 27 年 9 月 15 日に福岡県中小企業振興センターを末松、吉田、味澤委員が訪問。経営支援部経営革新課では、「フクオカ成長企業評価制度」の説明を受け、技術士会で請負を希望する場合は“会”として対応する仕組みの工夫を行ってほしいとの要望があった。福岡県知的所有権センターでは、特許の流通支援のための今年度の活動は現在 10 件ほどであり、グループで支援できる体制が必要かもしれないとのことであった。
- 2) 11 月 11 日九州経済産業局で「特許庁審査第四部長との懇談会」があり、吉田委員が参加した。そこでは「地域中小企業支援」、「特許行政や特許審査等」について、自由な意見交換が行われた。今後も情報交換、意見交換の場として定期的に懇談会が行われる予定。
- 3) その他 10 月 13 日には二月会に泉館、吉田(渉)氏が参加した。

【今後の活動予定】

- 1) 九州大学学術研究・産学官連携本部：7 月 2 日の訪問時に要求されていた技術者リスト（アドバイザーリスト）ができたので、連携要請の文書を近々持参の予定。
- 2) 福岡県工業技術センター：HP の技術相談の部分がリニューアルされたので、近々訪問の予定。
- 3) 九州農政局：小出委員の日程調整後、訪問の予定。

5. 4 第 4 グループ；【文責：味澤代筆】

【これまでの活動状況】

- 1) 12 月 2 日（水）、産総研鳥栖オープンデーでの出展報告（「資料④-1、④-2」参照）
 - (1) 古賀副委員長が「報告書（H28 年 1 月 15 日号「技術士だより・九州」に掲載予定）」を作成（「資料④-3」参照）。

【今後の活動予定】

- 1) 「産官学と連携実施例の調査（表）」を第2Gと連携して作成したい。

5. 5 第5グループ：【文責：末松】

【これまでの活動状況】

- 1) 統括本部主催講習会の Web 会議利用：
機械部会が開催する金曜例会（18:30～20:30）の Web 中継を開始し、10/9（4名）、11/13（2名）に実施した。
- 2) 地域産業支援能力向上のための手法研究：
12/5（土）に第一回として大里先生から話題提供いただいた。テーマは、福岡県中小企業振興センターによる「フクオカ成長企業評価制度」と評価例の紹介。

【今後の活動予定】

- 1) 機械部会が開催する金曜例会（18:30～20:30）の Web 中継を継続する：
12月度は12/11（金）、1月は葺手ビルでの開催ではないので中止。2月度から再開する。
- 2) 地域産業支援能力向上のための手法研究：
第2回は3/26（土）の第4回例会時、味澤先生から話題提供いただく。

5. 6 その他：

【活動に関係する動議】

- 1) 九州本部長から要請のある「福岡県中小企業団体中央会」の調査追加対応（資料⑥参照）。
近畿経済産業局から大阪府中小企業中央会へ委託された「平成27年度ものづくり補助金審査」を近畿本部で実施したとのことである。九州本部でも実施可能化について検討すること。

【今後の活動予定】

- 1) 上記の件に対して、以下の手順で調査を進めることとした。対応者は、末松、古賀の予定。
 - ・今年度実施経験のある近畿本部の状況として、技術士会への依頼のルートや、近畿本部での実行体制等を調査する（担当：末松）。
 - ・本情報をベースにして福岡県中小企業団体中央会を訪問し、状況を把握する。

以上